

ふるさと

1

vol.237
2018

JA秋田ふるさととは、新たな期待を創造します。

【特集】

新春特別対談

横手の農業が目指すべき将来像とは

ふるさと産品

平成29年を振り返る

第19回女性大会・家の光大会



いいねをいっぱい届けたい



秋田ふるさと農業協同組合
代表理事組合長
小田嶋 契

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

最初に、昨年発生しました不祥事につきまして心よりお詫び申し上げます。この不祥事をうけ、早急に設置した第三者委員会より調査報告書が提出されました。報告書を読んで、農家・組合員の皆さんからの農協は地域にとって必要な存在だという信頼にあぐらをかき、甘えていたことが、不祥事の地下を醸成した一つであると考えております。

私たちに甘えがあったことを真摯に受け止め、今後、役員責任調査委員会にて役員責任について審議してまいります。そして再発防止策を徹底し信頼回復に努めてまいりますので、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

いつの時代も、「未だ見ぬ不安」に世間が騒がしくなることがあります。1999年のノストラダムスの大予言や2000年の11月問題。そして平成30年に始まる生産調整の見直しも、その一つかもしれません。生産調整の見直しが始まると、コメが余り、価格が暴落すると騒がれています。しかし、当農協で何年も前から研究・検討を

重ねた結果、必ずしもそうとは限らないと考えています。過去にあった「未だ見ぬ不安」と同じように杞憂に終わるかもしれません。

昭和40年代、コメの需給調整だけでなく、食糧管理制度の赤字解消も目的として、生産調整は始まります。そして生産抑制の政策を50年続けた弊害として、生産意欲の減少、反収の減少、後継者不足を生み出しました。また、高価格帯のコメの競争は激化し、産地の善し悪しはつきりしてきました。この現実が、最優先で対応すべき危機として地域農業を取り巻いています。

JA秋田ふるさとには絶対的な知名度とブランドがあります。気候や風土も稲作に適しています。それは主産地としての使命なのかもしれません。だからこそ安定供給できる産地でありつづける必要があります。そして園芸作物の産地としても確立している日本有数の複合産地です。

農協は持続可能な農業経営の実現を目指してきましたし、それはこれからも変わりません。今年は皆さんが安心して生産に専念できる環境を確立する初年度にしてまいります。

生産調整が始まった当初、多くの諸先輩方はそれに反対しました。その後50年の歳月を経て、その悲願が達成されたとも考えられます。平成30年の年を振り返った時、少しの難もなく、むしろ新しい幕明けであったと思えるように、役員一同、「頭は低く、足は軽く、心は熱く」を行動指針として頑張っております。

初春のお慶びを

申し上げます

代表理事組合長	小田嶋 契	代表理事組合長	佐藤 寿一
代表理事副組合長	柴田 多一	代表理事副組合長	高橋 稔
代表理事専務	佐藤 誠一	代表理事専務	菊地 寛之
代表理事専務	鷹田 直	代表理事専務	加藤 司
代表理事専務	高橋 康男	代表理事専務	高橋 柳作
代表理事（雄物川地区担当）	本間 恒	代表理事（雄物川地区担当）	藤原 英樹
代表理事（金沢地区担当）	加藤 堅之助	代表理事（金沢地区担当）	柿崎 孝一
代表理事（横手地区担当）	高階 ヤス子	代表理事（横手地区担当）	山本 輝悦
代表理事	佐藤 忠太郎	代表理事	鈴木 敏美
代表理事	鈴木 利比古	代表理事	田中 隆
代表理事	高橋 英俊	代表理事	中村 正子
代表理事	野中 長一	代表理事	新山 容子
代表理事（山内地区担当）	柴田 忍	代表理事（山内地区担当）	赤川 昭夫
代表理事（平鹿地区担当）	橋本 暁	代表理事（平鹿地区担当）	高橋 康夫
代表理事	柿崎 大二朗	代表理事	松井 均
代表理事	高橋 司	代表理事	眞田 久之
代表理事（田舎地区担当）	高山 明	代表理事（田舎地区担当）	大久保 清助
代表理事	堀田 忠久	代表理事	佐藤 和弘
代表理事	小西 均	代表理事	渡邊 登
代表理事	東海林 光博	代表理事	田口 哲

CONTENTS

- 02 組合長あいさつ
- 03 もくじ/表紙紹介
- 04 【特集1】新春特別対談
横手の農業が目指すべき将来像とは
- 10 【特集2】ふるさと産品
平成29年を振り返る
- 14 【特集3】第19回
女性大会・家の光大会
- 16 住宅ローンセミナー
- 17 新春クロスワードパズル
- 18 インフォメーション
- 20 ふるさとの民話
JAの概況



私も負けずに
大きくなるぞ！

橋本 悠里ちゃん（山内・3月15日生まれ・2歳）

3人姉妹の末っ子の悠里ちゃん。両親（父・紘志さん
母・由紀さん）と祖父母、2人の姉（愛海ちゃん・8歳
怜奈ちゃん・7歳）の7人家族。お肉やお米が大好きで、
普段は2人のお姉ちゃんとおままごとをして遊んでいる
よ。お母さんのお手伝いがしたくて、ほうきを持ってお掃
除に奮闘することも。これからどんどん上手になるから見
ていてね♪

今日はお父さんが育てている牛さんにエサをあげてみる
ぞ！いっぱい食べてくれるかな？



①牛舎は広いぞ！お父さんま
てまてー！

②まずは仔牛さんにエサをあ
げます。はいどうぞ♪

③大きな牛さんは食べる量も
いっぱい！どんどん食べて
大きくなってね♪

（撮影日 12月15日）



JA秋田ふるさと
代表理事組合長

小田嶋 契

横手市長

高橋 大 氏

【新春特別対談】

横手の農業が 目指すべき将来像とは

平成29年10月の横手市長選において横手市長に再任した高橋市長が描く、今後の横手の農業の展望とは——。横手市の農業政策について、「横手市の基幹産業は農業である」として2期目の4年間で「日本一の複合産地を目指す」、「農業創生大学に魂を入れ、後継者育成を進めていく」と力強く主張されています。

横手市長に再任したいま、高橋市長が目指す横手の農業のあり方について、同じく2期目を務める小田嶋組合長とともに語り合います。

2期目を迎えて

市長 2期目を迎えたことでやりた
いことがたくさんありますが、市の
政策の目玉として、2019年の春
に増田まんが美術館が完成します。
箱を作って魂を入れないというわけ
にはいきません。現在魂とも言える
内容の充実に尽力しており、今後さ
まざまなソフトの展開をしていきま
す。また、東京オリンピック・パラ
リンピックでインドネシアのバドミ
ントンのナショナルチーム誘致を考
えています。誘致の活動を通して、
諸外国との交渉のノウハウや、文化
が違う相手との立ち回り方といった、
単なる文化やスポーツの交流だけに
留まらず、産業の繋がりに結びつけ
るパイプを作っていきたいと考えて
います。

農業政策としては農業創生大学事
業があります。これは市の基幹産業
である農業の発展のために肝いりで
JAとタッグを組んでやる事業です。
これにも魂を入れ、共に手を取り合
いながら力を注いでまいります。

農業後継者の育成

組合長 市長の公約の中に「日本一
の複合産地を目指す」というものが

ありますが、その中の1つ、農業創
生大学事業は後継者育成に力を入れ
ていく考えと受け取りました。その
捉え方で間違いないですか。

市長 間違いないです。ただ、「後
継者を育成します」と市がビジョン
を掲げてみても形に見えるものではあり
ません。ソフトだけでは、これから
裸一貫で農業を始めようと志す人か
ら見れば道筋がイメージしづらいと
思います。創生大学事業は単なるソ
フトだけではなく、ハードも揃って
いる事業です。また、講師陣もしっ
かりいて、成長していくための土俵
というものを作ること、安心して
スタートラインに立てるようにした
いと考えています。

組合長 日本全国で育ってきている
後継者を見ると、そういった制度を
利用し成功している人たちもいます
が、逆に非農家出身ながらも農家を
志して裸一貫で地方に飛び込み、試
行錯誤する中で周りの後押しを受け、
自立し立派に経営を軌道に乗せてい
るケースもあります。つまり、地域
が一体となってやる気のある後継者
を育てる姿勢が必要です。ここで頑
張りたいという魅力のある若者に、

いかに生産現場に飛び込ませるか。
それがなくなかなか下地は作れま
せん。プログラムは準備したが、意
欲のある人が集まってこないとい
うことにもなります。私は、経営の中
でいかに補助金を当てにしない自立
した経営をするかが、本来農家が目
指すべきことなのではないかと思
います。これが精神論だと言われれば
それまでかもしれませんが、交付金
をきちんと有効に使ってもらえるよ
うな取り組みや啓蒙の仕方というも
の必要なのではないのでしょうか。

市長 農業の交付金や補助金を問わ
ず、多種多様な事業に対する支援を
市は行っていますが、やはり応援資
金というのは、経営の良いスタート
を切るためのカンフル剤であり、そ
の後に自立し、最終的にはもらった
分以上の収益を得て、納税という形
で返す、という気概を持っていただ
ければと思います。

組合長 ところで最近、農業に関心
を持つ若者がずいぶん増えてきてい
ます。新規就農者の数も今までから
すると増えてきています。それは心
から喜べる話題です。あとはその人
たちをいかに育てるか。技術的な育

て方もありますし、異業種の人たち
と交流することで視野を広げると
いった、自分なりの農業に対しての
価値観とか、そういうものを総合し
ながら育てていく事がこれからは必
要なのではないのでしょうか。

「日本一の複合産地」を目指すために
組合長 その中でこれから日本一の
複合産地にするためにということ、
2016年度はJAの園芸作物販売
額が70億円を超え、これから80億円
を目指そうとしています。新規就農
者を増やすことや規模拡大を進めて
いくことはもちろん必要ですが、実
はその一方で、70億円を頑張った稼
いだ人たちの高齢化が間違いなく進
んできており、中には離農してしまっ
た人もいます。

新規就農者がいくら増えても、こ
れまで地域の農業を支えていた人た
ちが続けられないようでは衰退し
てしまうでしょう。今まで農業を
やってきた人たちが、これからも引
き続き頑張ることができるような環
境づくりが、日本一の複合産地を目
指す上では必要なことです。市の取
り組みや国、県の取り組みについて
も比較的新規就農者に対しては手厚
い。生産振興に向け、生産を維持す



るための方策を聞いてみたいのが。

市長 これからはますます耕作面積の維持を考えなくてはいいけません。産業政策よりは地域政策や環境政策になるでしょうが、一番はしっかりとした収益がある形で農業をやってもらいたいと思っています。農地の荒廃や環境の悪化、特に中山間地はだんだん人手が離れ、山林化してしまったり、クマが近所に来たりという、人の手を土地に対してかけてあげられないことによる悪影響が出てしまっています。そういった対策を講じながらも、産業として成り立た

せ、収益を上げられるようでないといけない手も生まれません。これから若者が夢を持って農業をやるためには産業として成り立たせる、農業で稼ぐという思いの人が増えるような取り組みを今後していきたいです。例えば、同じ面積で収益を上げるとなると、反収を上げないといけません。収益が上がり、しかも栽培に適した産品や品目を増やすこと。また既存の産品の強化という形で、強いものを育てつつ、消費者から喜ばれる新たな産品を創生大学事業含め模索していきます。そして、その取り組みを市としても担い手や生産者のニーズを伺いながら、どのような応援の在り方が良いのかを情報交換していくべきだと思います。

組合長 市長が今おっしゃったことに対して、実は私自身の考えがあります。園芸の後継者は着実に増えてきていますが、それに比べると、稲作農家は少ない。地域の荒廃についても米は比較的今ある機械を使って作ることができますが、逆に荒れているのも田んぼです。

ここで生産する農産物の中で、全国的に一番知名度が高い物も「あきたこまち」。生産調整を大幅に見直

すこの年になって、「米だけを作っているからダメなんだ」と50年ほど前に生産調整が始まった頃のフレーズがまだ聞こえてきますが、今一番危機にあるのは国内の米作りです。消費者が欲しがっているのはやはり「あきたこまち」ですし、それをしっかり消費者の元に届けられるような生産体制を作っていくことが一番必要なことでないでしょうか。米を需要に合わせて個々の農家が経営判断に基づいて作ることと一緒で、園芸についてもやはり需要に基づいて個々の農家が経営判断によって品目を選出することです。米や園芸品目などいろんなものを見て、自分の技術や経営資源など、そういう物を合わせて選んでいくことです。

ここ横手は稲作の適地だと思います。一枚でも多くの農地を荒らさないようにするためには、作付可能な場所には稲を作付していく姿勢が必要になるのではないのでしょうか。私が子どもの頃ノストラダムスの大予言というものが一時期流行り、1999年に地球は滅びるのではないかと、コンピューターのはなしとか、2000年問題でも、大変なことが起こるかもしれないと言われていました。でも実際はそうでもありません

んでした。農業の中で今盛んに言われている平成30年の生産調整大幅に見直し。米の需給調整が上手くいかず、米価が大暴落して大変な事が起きるのではないかと盛んに言っている人たちがいますが、果たしてそうでしょうか。

市長 私も相場の部分は多少わかっているつもりですが、暴落するということの事前の情報が出ている時に暴落することはありません。暴騰も暴落もまさかという事が起きないと、要はちまたの予想を覆すような現象が起きないと相場の突出した動きは起こりえません。

組合長 今の稲作の生産現場を見ると、生産調整うんぬんより、米を生産する人たちはみな高齢化が進み、しかも農地集積もまだそれほど進んでいない状態にあります。今現在の米価も上がってはきていますが、それでも生産者は価格変動のリスクを感じている状態です。一気に増産するとは考えづらい。だからといってそこに制限を設けていくと米を作る人がますます減少してしまします。それこそ圃場を整備し、耕作放棄地を有効に使うと国策で進め



ているのだから、個々の農家に生産目標数量を配分するよりも、農家には米を作りたい、土地があるのだから植えたいという気持ちがあるのならばぜひ植えてもらいたい。それがさきほどの回答になるのではないのでしょうか。あとは集めたものをしっかり売り切っていくのが我々JAの役割であり使命。今までの生産調整の歴史を振り返ると米価安定の手法とはなりえなくなってきました。むしろ生産者と消費者の間で安定した物の流れができるように我々が生産振興していくことが一番求められていることではないでしょうか。平成30年はあくまで通過点に過ぎず、振り返ってみればコンピュータ

の2000年問題のように、「騒いだ割には大したことなかったな」とかそういう風になるのではないかと思っています。

市長 恐らく、暴落するという情報は生産者の意欲を削ぎ、生産を諦めさせる手段なのではないでしょうか。暴落して「もうこの先、米はお先真っ暗ですよ」と言えば、「じゃあ、いよいよ潮時かな」というような農家も出てくると思います。それを誘発するための情報なのではないかと思っと思っています。

組合長 もしそれがそういう意図を持った情報だとしたらそれはとんでもない話で、暴落して一番困るのは規模の大きな農家。「作っていく」という気持ちがないと大規模農家になれないし、「やめなさい」と言われて作る人はいません。本当に根本から見直さなければいけないのではないのでしょうか。作るといふ行為は本来正しいことであり、このままだと担い手が本当にいなくなってしまう。

市長 今、基盤整備も道半ばにあり、私は全国を歩いてきたわけではない

のですが、他の地域から比べると相当この横手は進んでいるように見えます。他地域では、「よくこんな大変なところでやっているな」と思うような場所が見受けられます。

組合長 この地域、特にこの秋田県土地改良は先人からの努力のたまものであり、土地改良に率先して取り組んできた成果。それがインフラとなつて現在も残っているし、それはやはりここが米の適地だったからこそ、ここまでやれたのではないかと思います。

市長 水も強い武器になります。水が農作物になるわけですが、これだけ考えもしつかりしている場所なので、その利点も捨てて別のものに走ってしまうというのは、あまりにも安易。他はもっと不利な場所です。やっていると考えると一番良い土俵で戦えるのが横手ではないかと考えています。

組合長 いろいろな品目を一生懸命生産していますが、それでも売り上げの半分以上が米です。市長も経験があるかもしれませんが、どこに行っても「秋田出身です」と言えば

「あきたこまち」と返ってきます。我々はそういう看板を持っていますので、それを積極的に生かしていかなければいけません。

市長 横手市の耕作面積1万6000畝を全部園芸にしようというのは非現実的です。これだけ基盤整備されている中でこの地域の強みを捨てて他で勝負するよりも、強いものは強気で勝負をしていきたいと思っています。

地域を支える農家の魅力

組合長 JAに対する要望はあります。

市長 引き続き、先見性ある小田嶋組合長のリーダーシップのもと、ぜひとも協力しながら、立場が行政とJAで立ち位置の違うところはありますが、今後も立場の理解もしながら共に目標に向かって歩んでいければと思っています。

組合長 考える人と組み立てる人、そして実行する人が必要になります。それが固定化されるのではなく、横手市でアイディアを出してJAがそれを組み立てて実行するとか、JAがアイディアを出して行政がそ



れを組み立てて実行するとか、そういうものももっとあっても良いのではないのでしょうか。農業振興はその時々々の政治情勢や見地、国際通商政策といった自分たちでコントロールできない、いろいろなものにより状況が刻々と変わってきます。それに対する最善の策というのもその時々で変わっていくことだと思います。その中でやっていかなければならないので、いかに同じ夢を見るか、同じ理想を持つか。農業を中心としたこの地域でどのように将来を協力して創造していくか。

市長 家が大きい農家が多い。しかも三世帯同居して子供が多い家も結構あります。若い農家で頑張っている世帯はそういう意味ではしっかりと稼ぐことができる、子供を産んで育てやすい環境の職業でもあるのではないのでしょうか。消防団に誘われれば消防団で汗をかき、地域のお祭りに借り出されれば快く引き受けてくれるといった、地域のことで何役も担ってくれている農家がたくさんいます。

本当にしっかりやれている農家は地域で頼りにされていますし、無くしてはならない存在。いろいろな役を

担う本人からしたら大変かもしれないですが、それだけ頼りにされることは幸せなこと。しっかりと稼げて強くないとあてにされません。また、子どもからみてもお父さんやお母さんが地域であてにされているのは誇らしく見えると思います。他の仕事の否定をしているわけではありませんが、農業ができる環境にある人は、充実して誇れる生活をする意味でも魅力的ではないかと思えますし、今後も魅力ある職業にしていき続けたいと考えています。

組合長 今市長の話を聞いて思いだしましたが、いろいろな地域に行くと、農家の景気が良くないと横手の将来が繁盛しないという話をする人達が多いです。地域の、農家の担い手が元気で生き生きしているとその地域全体に活力が出てきます。地域全体が明るくなります。明るい地域や集落にはそこで働く人たちが光を放っています。

「自分の住んでいるところはダメだよな」とか、「こんな仕事したってどうしようもないよな」とか思っている人たちが住んでいたら、そんな地域に魅力があるわけがありません。自分たちが住んでいるところを

都にしてみわなないといけません。都にしていくなのだという気持ちが必要だと思います。

目指すべき横手の姿と二人の夢

組合長 目標とするものは高橋市長と同じだと思っています。ただ、持っているツールや与えられた役割は違いますが、基本的には農村地域をいかに発展させるか。また、発展の仕方も先ほど申し上げた通り生き生きとした人を育てることによって地域を作っていく。それが我々の役割だと思っています。そういう点で考えるとほとんど目指す姿が同じだと思います。私よりも一回り若い市長の言葉の方が若者の心には響くようです。農業をやっている若者たちからは「市長のお話はわかりやすい」と言う声を聞くことがあります。

自治体のトップとして旧態依然の慣習にとらわれず、もっと無茶でもいいから夢を創造してほしい。改革とは価値観まで変えていくことだと思います。若者にはこれからの価値観を創造してほしい。新しい価値観を作り出していくことが本当の改革であると考えています。私の年齢では想像もできないような「こういうこともあるのか」とこちらが驚くよ

うなことをこの4年間で出してもらえば面白いですね。

市長 塞がっている方の先というのは人はなかなか選択しませんが、皆が選ぶ方策は誰でも考えます。鉄壁の防波堤の向こうは誰も選択しないでしょうが、その先に別の世界が広がっているはずですよ。それが少数意見の方向になるのかもしれませんが、反対が多いものを突破するということもリーダーとしての役目なのかなと思う部分もあります。

組合長 市長と話をしていると同じ目的を持ちながらも持っている感性が違うから考え方を広げるヒントになります。考えを練るとか話すことで感性を磨いていく。そうしたやりとりは有意義ではないかと考えます。生産部会に行つて、若手や何十年もやってきた方と話をしていると思うのはなかなか捨てた地域ではないということ。これだけ一生懸命で若者もお年寄りも農業や自分の職業、いろんなことを考えてやってきています。もつともつと魅力のある地域になつていくはずですよ。その旗頭としての役割は市長が担い、農業の面で支えていくのが自分の役割です。

市長 指揮者が将来に自信をもっていないと周りには不安になりますよね。

組合長 先のことは基本的に分かりませんが、分からなくても10年先は「こうしていく」、「こういう地域に作っていく」、「希望や目標、夢を持つ。誰でも簡単にできることが夢とは言いません。ある意味、無理だと言うことも、「念ずれば花ひらく」という言葉があるくらいですから、できると思つてやる。普通はできない理由を考える。それが本当に合理的ならまだしも、「怖い」とか「失敗するのがいやだ」とできない理由を考えがちです。失敗や恐怖心を乗り越えていく勇気がなければ新しいことはできません。

市長 今の横手市は「窮鼠猫をかく」の、鼠だと思えます。とにかく、相手が猫であつても猫の鼻っぽしらを嘯まなくてはなりません。身近な職員には東北の本拠地奪還、千年越しの奪還を目論んでいると話しています。横手市が地理的には東北の中心です。私が生きている間に、まるで未来を見てきたかのように希望を持って話すのが大事だと思えます。その見てきた未来の通りにしてい

ます。農業も日本一にしていきたいと思います。日本一になります。「30年後くらいにはなっていますよ」というのを、あたかも30年先の未来の私が現れて、その世界を見てきた、と真実のように話していくのが大事だと思います。あとはそれに向かつていくだけです。

組合長 ささやかな夢のような話ですが、平成30年問題においてJ A秋田ふるさとで講じてきたことが秋田県全域に広がって、気が付いたら秋田県が日本一の産地になつていったとなつたら面白いと思います。秋田県の潜在能力を開花させる、その起点が横手だったというようなものを目指していきたいです。

市長 明永長者（※）の時代から千年以上かけて。その当時は秋田県一だったかもしれない。開墾したばかりの頃、かつて東北一、秋田県一の時代があつたはずですよ。

組合長 最近そういった夢の話よりも「お先真つ暗」の話ばかりで、これで良いのかと思うところもあります。逆に夢をもって話すのを小馬鹿にされる風潮さえあります。

市長 人は「変化の先の天国」よりも「現状の地獄」を選びやすいのかもしれませんが。変化することにアレルギー反応を起こしてしまい、悪性に慣れてしまえば、それも普段の環境になつてしまします。

組合長 そのわりに「昔は良かった」と言いがちですよ！経験したことだから仕方ないし、この先のことを不安視するのも分かります。とはいえそこで我々も一緒に不安になつてはいけないし、心配しなくても良いようにきちんとした道筋を示していくことが求められていることだと思います。

市長 培ったものを存分に尽くしていきたいと考えます。そういう意味でJ Aとの「複合化」、私たちが「日本一のタッグ」を組んで同じ方向性を目指していきたいです。

（※）明永長者
寛平年間（889年-898年）の頃に現在の横手市明永から横手川西部地域を開発し、庶民の信頼を得ていたとされる長者。大湖水だった横手盆地を御嶽長者と副川長者の2人と協力して低平な盆地にしたという伝説がある。

ふるやと産品 平成29年を振り返る

【園芸・果樹】を振り返る

販売額計44億5700万円(前年同期比86.1%)

平成29年の農産物の生産は皆様の記憶に残る気象災害(6月低温・7月の豪雨・8月の大雨)の中、生産販売面でも非常に苦労した年となりました。

果菜類を中心に大幅な生産量の減少となりましたが、専任指導員による巡回の強化及び技術情報発信などの徹底により、販売先(市場等)からの大きなクレームもなく、品質面では高い評価を維持することができました。

販売面では、過去最高の実績を残した前年に比べると、7億円余りの減額となり、11月末実績で44億5700万円(同月比86%、計画対比89%)となっています。

園芸

◆スイカは「夏丸」の評価年々向上
スイカは、生育の平年ペースを大幅に遅れ、出荷ピークが8月盆前となるなど販売苦戦が想定されました。

その危機を乗り切るため、販

売前より市場との情報共有をしつかり取り、盆後にかけた販売戦略が功を奏し、販売額10億円台を確保できました。食味等の品質も良く、県オリジナル品種「あきた夏丸」に対する評価も年々向上しております。小玉の「あきた夏丸チツチェ」に対する評価の向上と共に、ふるさと産スイカの販売拡大のチャンス到来と捉え、次年度以降も市場の要望である7月15日以降の販売数量を確保しながら有利販売に繋げてまいります。

◆菌茸は春先より生産量が不安定
菌茸は、例年になく出荷量が不安定となりました。生産者によるバラツキも大きく、生産量については、前年を10%以上下回る実績となっております。高い予約相対販売率と品質の高さに支えられ、安定した販売が続いております。

◆花きは2日目販売スタート
花き類は、4月より2日目販売がスタート致しました。高品質生産と相まって、今年の異常気象の中、販売面での効果が徐々に表れてきています。

果樹

平成29年の果樹生態は、主力のリンゴをはじめ各樹種とも平年より2日〜4日程早い生育で推移しました。初期生育は順調に経過し、前年に続き生産量の増産が期待されましたが、6月に入り低温や日照不足の影響から生育は停滞し、果実肥大が鈍化、品目全般で前年よりやや小玉傾向となりました。

生育期中、局地的な降雪や豪雨、強風による被害もあって、リンゴ、ブドウのJA集荷量は前年を割る結果となりました。

販売面として、サクランボは需要期の6月に集荷量を確保出来なかったこと、全国的な豊作基調による主産地との競合で安定価格を維持できませんで

たが、販売量、販売額では前年をやや上回りました。

桃は豪雪被害によって植栽された樹の成木化が進み、生産量はここ数年増産傾向にあります。計画出荷が実践出来たことで販売量、販売額とも前年を3割ほど上回りました。

ブドウは主要品種の「キャンベル」「ナイヤガラ」の結実不良が大きく影響し、房の大きさも全般に小房傾向であったため集荷量が減少。販売量、販売額とも前年を下回りました。

リンゴは高値販売が続いた平成28年と環境は異なりましたが、主要品種の販売単価は概ね平成27年より高値傾向で推移しております。主力品種「ふじ」の販売は2月初旬まで続く見込みです。

今年度の果樹販売事業も残り僅かとなりましたが、売り場を確実に確保しながら最後まで丁寧な販売を心がけ、生産者手取り向上に努めてまいります。



● 平成29年度園芸・果樹生産販売実績(11月末現在)

総合	平成29年度実績		平成29年度年間計画				平成28年度同月実績				
	数量 (t、本)	販売額 (円)	数量 (t、本)	対比	販売額 (円)	対比	数量 (t、本)	対比	販売額 (円)	対比	
野菜	きゅうり	935.082	267,663,230	1010	93%	282,846,000	95%	968.667	97%	268,538,320	100%
	トマト	459.059	136,866,525	610	75%	179,953,000	76%	572.382	80%	157,252,981	87%
	西瓜	5,971.305	1,069,037,540	6,726.57	89%	1,210,021,000	88%	7,117.682	84%	1,340,947,736	80%
	枝豆	334.203	201,091,312	400	84%	240,215,000	84%	356.502	94%	227,096,855	89%
	アスパラガス	88.729	106,941,255	137	65%	143,327,000	75%	126.968	70%	137,526,328	78%
	食用菊	6.318	7,885,994	9	70%	8,957,000	88%	7.051	90%	8,651,465	91%
	山菜	0.734	2,559,833	2.6	28%	9,100,000	28%	1.503	49%	5,132,598	50%
	メロン	26.801	10,280,326	32.75	82%	12,420,000	83%	32.871	82%	13,778,361	75%
	シシリアンルージュ	26.135	11,318,024	36.7	71%	13,579,000	83%	31.329	83%	13,100,389	86%
	ピーマン	61.778	29,446,023	65.4	94%	29,693,000	99%	66.457	93%	30,830,472	96%
	にら	67.260	32,429,266	75.8	89%	32,290,000	100%	74.515	90%	33,285,289	97%
	せり	5.323	8,381,377	6.9	77%	10,450,000	80%	6.508	82%	10,085,820	83%
	ホウレン草	239.367	177,427,527	254.85	94%	179,529,000	99%	229.51	104%	191,034,259	93%
	小松菜	83.534	31,102,891	116.07	72%	42,720,000	73%	111.893	75%	45,852,556	68%
	みつば			1.37		6,329,000		0		0	
	ミニカリフラワー	23.946	4,359,514	32	75%	5,800,000	75%	17.254	139%	4,741,450	92%
	塩蔵野菜	17.893	3,890,603	49.8	36%	7,955,000	49%	45.561	39%	8,260,581	47%
	ネギ	276.910	83,162,383	355	78%	90,490,000	92%	276.975	100%	90,513,892	92%
	里いも	45.107	24,226,501	57.3	79%	31,071,000	78%	51.811	87%	29,853,921	81%
	アスパラ菜	2.287	1,600,887	18.42	12%	12,087,000	13%	2.02	113%	1,542,818	104%
そら豆	21.060	8,174,823	17	124%	7,310,000	112%	17.384	121%	8,167,634	100%	
朝採り野菜	80.964	29,713,503	115.74	70%	36,450,000	82%	91.046	89%	33,152,995	90%	
安心畑他	0.288	82,447,426	0		139,803,000	59%	0.23	125%	86,870,167	95%	
その他野菜	212.649	41,567,473	271.84	78%	50,878,000	82%	129.911	164%	40,935,935	102%	
野菜計	8,986.732	2,371,574,236	10,402.11	86%	2,783,273,000	85%	10,336.03	87%	2,787,152,822	85%	
花卉	菊	7,293,470	403,692,564	7,397,400	99%	420,856,000	96%	7535130	97%	446,410,545	90%
	ゆり	576,295	41,823,105	682,600	84%	55,989,000	75%	569303	101%	43,542,427	96%
	シンビジウム(鉢)	182	333,180	7,500	2%	21,450,000	2%	56	325%	176,796	188%
	シンビジウム(切花)	780	528,981	56,000	1%	40,520,000	1%	1052	74%	664,200	80%
	トルコギキョウ	579,770	91,784,305	671,100	86%	100,684,000	91%	617000	94%	93,049,866	99%
	その他花卉	517,520	38,617,045	644,400	80%	46,969,000	82%	544212	95%	38,323,716	101%
	花卉計	8,968,017	576,779,180	9,459,000	95%	686,468,000	84%	9,266,753	97%	622,167,550	93%
菌茸	菌床しいたけ	860.876	1,076,647,508	1,671.5	52%	2,086,424,000	52%	998.008	86%	1,235,518,342	87%
	原木しいたけ	12.998	12,777,095	19.64	66%	18,335,000	70%	12.138	107%	11,119,828	115%
	エリンギ	1.816	1,859,051	7.4	25%	6,645,000	28%	3.126	58%	3,073,237	60%
	なめこ	50.28	27,487,620	84.2	60%	45,388,000	61%	54.09	93%	29,331,072	94%
	ぶなしめじ	35.106	20,247,310	77.6	45%	46,650,000	43%	36.32	97%	20,310,639	100%
	ひらたけ	1.792	1,029,585	9.5	19%	5,078,000	20%	2.215	81%	1,250,021	82%
	その他菌茸			0		0		0		0	
	菌茸計	962.868	1,140,048,169	1,869.84	51%	2,208,520,000	52%	1,105.897	87%	1,300,603,139	88%
果樹	りんご	183.41	42,734,974	5,696.10	3.2%	1,006,849,692	4.2%	357.26	51.3%	82,200,862	52.0%
	ぶどう	320.86	131,089,931	669.02	48.0%	221,730,280	59.1%	451.75	71.0%	164,984,057	79.5%
	和洋なし	347.30	87,530,550	554.80	62.6%	131,098,540	66.8%	487.05	71.3%	125,023,930	70.0%
	さくらんぼ	27.81	40,070,002	26.83	103.6%	41,653,607	96.2%	25.55	108.8%	39,545,344	101.3%
	もも	166.98	66,171,255	150.42	111.0%	59,398,451	111.4%	129.47	129.0%	51,814,693	127.7%
	その他果実	3.23	1,616,048	3.17	102.1%	1,376,106	117.4%	2.92	110.8%	1,342,349	120.4%
	果樹計	1,049.58	369,212,760	7,100.34	14.8%	1,462,106,676	25.3%	1,453.99	72.2%	464,911,235	79.4%
合計		4,457,614,345			7,140,367,676	62.4%			5,174,834,746	86.1%	

【稲作】を振り返る

作況指数97、「ふるさとecoらいす」集荷率94.8%に

育苗期

出芽不良少なく、順調な生育！

播種作業は平年並みとなり、作業終期（95%）はほぼ平年並みの4月末となりました。

4月の気温は平年よりも高めで推移したものの、出芽期間中は、気温がやや低め・日照が少なかったことにより出芽不良が懸念されました。しかし出芽まで日数を要したものの、例年多い出芽不良や高・低温の影響による病害の発生も少なく、その後の育苗期間中の好天により、一部で徒長気味な苗があったものの、概ね順調な仕上がりとなりました。

本田

耕起・代かき・田植え作業は平年並み！

耕起・代かきの本田作業は、ほぼ平年並みの作業進度となりました。

田植え作業は、代かき作業も順調に経過したこと、作業盛期も5月24日頃の平年並みとなり、5月末ではほぼ終期となりました。

初期・中期

田植え後の低温により、生育遅れる！

田植え作業を早目に終了した圃場では、活着期の天候が良好であったことから順調なスタートと思われましたが、5月25日以降の低温・日照不足の影響により生育が停滞するなど、6月10日の生育調査では平年の約70%。また、7月5日の最高分けつ期でも平年の約80%の生育量であり、平年並みの茎数が確保されたのが7月25日頃となりました。

幼穂期

肥料の発現により、もみ数増加！

初期生育の遅れから茎数確保のため7月に入っても中干しができず、幼穂形成期までに中干し作業を終えることができない圃場が目立ちました。

幼穂形成期前から葉色は肥料の発現がやや遅れ濃い目でしたが、もみ数が決定するこの時期に肥料吸収があったことで、結果的には1穂当たりのもみ数が増加し、平年並みのもみ数へ繋がったものと推察されます。

出穂期

気温・日照平年以下、登熟に懸念！

管内の出穂盛期は、平年より遅れ8月7日。出穂の早い圃場では8月4日頃から、遅い圃場では8月16日頃となりました。

出穂期以降、気温・日照時間ともに平年値以下で経過したことにより登熟は緩慢となり、もみの黄化や枝梗の枯れ上がりが進まず、刈り取り判断が難しい年となりました。

収穫期

降雨の影響で、刈取り作業長引く。

出穂期以降、気温・日照時間ともに平年値以下で経過したことにより登熟まで日数を要し収穫時期が遅れました。また、収穫期に入っても降雨のため圃場条件が悪く、天候が回復してもしばらく圃場に入れない場所もあり、10月末まで刈取り作業が続きました。

病虫害

カメムシ対策は継続的に！

病虫害については、箱施用剤の普及による予防除の徹底により、葉いもち及び初期害虫の

発生は抑えることが出来ました。

カメムシについては、2年続けて大被害のあった翌年であることから、越冬卵や越冬成虫数が確実に多いことが予想されました。すくい取り調査では例年並みの大発生であり、カメムシ被害が懸念され、稲作情報の配布、各地区での防除講習会などの開催で、カメムシ防除対策の徹底を呼び掛けました。

こうした対策の実施により、被害の程度は前年を大きく下回ることができましたが、地域によつては依然として被害を受けている農家が多くいるのも実態です。被害を受けた例をみると例年同様で、①ヒエやホタルイの残草が多い圃場 ②農道・畦畔の草刈りが実施されていない圃場 ③雑草対策や防除対策が実施されていない飼料用米、WCSの圃場が隣接している圃場 ④毎年被害を受けているのに、計画的に防除が実施されていない圃場でカメムシの被害を受けているようです。

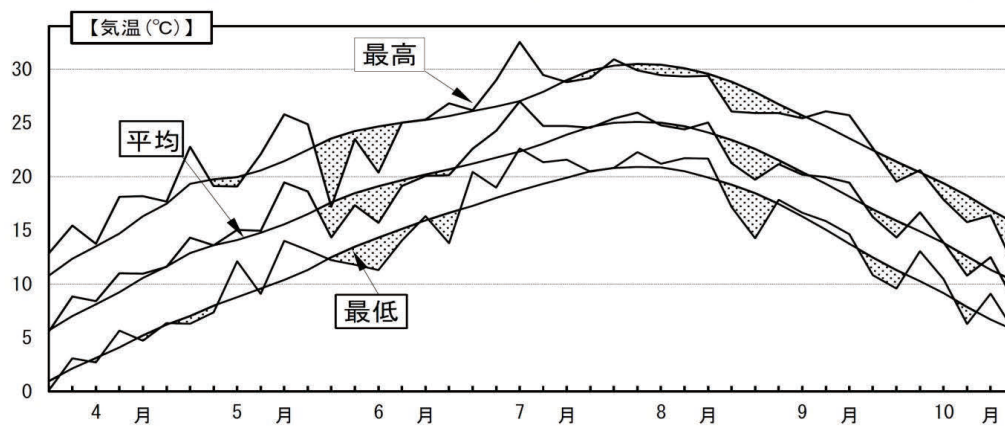
まとめ

「ふるさとecoらいす」は定着して集荷率94.8%

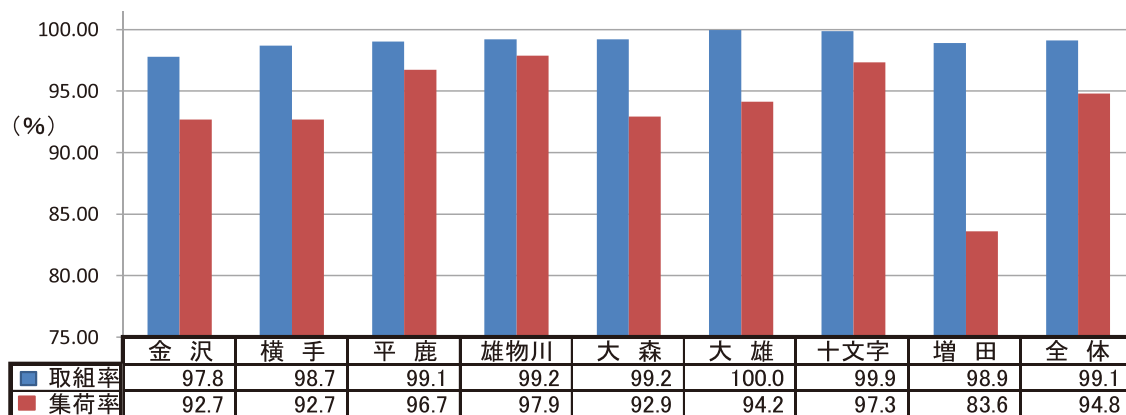
平成29年10月31日農林水産省の発表によると、秋田県の平成

平成29年産米の「気温経過」と「ふるさとecorais」の取組み

【本年の気象経過（平成29年4月～10月 アメダス横手観測所データより作成）】



平成29年産「ふるさとecorais」地区別取組み率・集荷率



※取組み率…該当4品種（あきたこまち・めんこいな・ひとめぼれ・ゆめおぼこ）の米契約時の契約数量での割合
集荷率 …該当4品種で要件を満たして集荷された割合（12/4現在）

29年産米の作柄は、収量において全県「99」・県南「97」の「やや不良」となりました。これは、全もみ数（穂数×1穂もみ数）は平年に比べ「やや多い」となったものの、登熟が8月の低温・日照不足の影響により「やや不良」となってしまったことで、総合的に「やや不良」となっております。実際には、登熟不良により未熟粒が多くなつてしまったことが、収量の落ち込みに繋がったものと考えられます。

買入れ数量については、契約数量対比約92・2％と大きく下回りました。1等米比率は95・3％と前年を3・4％ほど上回りましたが、2等以下に格付けされた理由をみると青未熟粒・未熟粒混入による充実度不足が44・0％で最も多く、低温・日照不足の影響が出た年でありました。次いでカメムシ被害によるものが40・1％となっております。（11月30日現在）

玄米の品質面では、登熟期間が低温・日照不足で経過したことにより、青未熟粒・未熟粒が多くなったものの、1・9mm網の適正使用により整粒歩合の高い良品質米となっております。

「ふるさとecorais」への取組みも5年目となり、計画



段階での米契約時における取組みの割合は、99・13％とほぼ全量に近い取組み率となりました。最終的には農家の皆さんから提出された防除日誌による確認や、1・2等米の等級格付けにより、「ふるさとecorais」の最終認定をしたところ、計画時からするとやや低下したものの、94・8％と高い集荷実績率となりました。

最後に、平成30年度から米の生産数量配分が廃止されることにより、JAの生産・販売方針である「より信頼される産地・売り切れる米産地」の確立を目指して、全生産者の皆様と取り組んでまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。



第19回 J A 秋田ふるさと 女性大会・家の光大会

－ J A 秋田ふるさとふれあいセミナー2017 －



「第19回 J A 秋田ふるさと女性大会・家の光大会」が12月5日、秋田ふるさと村ドーム劇場で開かれ、各支部の女性部員や地域住民、J A 役員など720人が参加しました。部員同士の相互の交流を深めるため、地域を支える女性が中心となり会場を埋め尽くしました。



大会冒頭、J A 女性部の神谷光子部長が「私たち女性部は、J A 秋田ふるさとあつての女性部。組合員として、組合員の家族として J A を心の拠り所にし、J A とともに農業や社会を守っていかう」と呼び掛けました。

続いて小田嶋契代表理事組合長が「先のことは誰しもわからなくても、しっかり前を向いて自分たちで将来を作っていく、そういう気持ちを一人ずつが持つことが大事」とあいさつしました。

組織活動報告では J A 女性部金沢支部の本間アヤ子支部長が各種イベントで女性部の活動が浸透してきていることについて触れ、「今後も私たち女性組織は自分たちも楽しみながら今できること、しなければならぬことを地域の皆さんと一緒に取り組んでいく」と話しました。

また、J A 女性部増田支部の石川冴子さんが「家族と地域に支えられて」

と題した家の光記事活用体験を発表。会場からは大きな拍手が沸き起こりました。

その後、恒例となった女性部各支部のアトラクションでは支部ごとに個性光るパフォーマンスや衣装で来場者を魅了。今大会ではタレント・俳優として活躍する山田雅人さんによる「かたりの世界」と題した記念講演が行われ、来場者は山田さんの「かたり」の世界に引き込まれていきました。

- ①女性部活動作品が来場者の目を引いた
- ②家の光記事活用体験発表をする J A 女性部増田支部の石川冴子さん
- ③組織活動を報告する金沢支部の本間アヤ子支部長
- ④お楽しみ抽選会も実施。ラジオパーソナリティの柴田優子さんとタレント・俳優の山田雅人さん（右）がプレゼンターを務めた
- ⑤ J A あきた女性組織協議会 会長 佐々木博子 氏
- ⑥（一社）家の光協会 総務本部副本部長 川本泰永 氏
- ⑦ J A 秋田ふるさと 小田嶋契組合長
- ⑧ J A 秋田ふるさと女性部 神谷光子部長
- ⑨会場は笑顔に包まれた



平鹿



365歩の
マーチ



雄物川



「女の言い分」



大雄



しあわせのサンバ



大森



め組のひと
渚のシンドバッド



十文字



猩々踊り
しんじゆうどり



増田



パリシエール・
レイナニ



金沢



若き日の
愛の歌



横手



きよしの
ズンドコ節





住宅購入や住宅ローンなどについて知りたい情報がいっぱい!!
他行からの借換をご希望の方もOK!

第21回 JA秋田ふるさと「住宅ローンセミナー」開催

最新 住宅ローンセミナー

— 住宅ローンの上手な借り方、返し方実践講座 —

予約制・参加費無料
参加者募集中!

当日は昼食付

あこがれのマイホーム。ふくらむ夢と同時に大切なのは資金計画。
そこで新築や建て替えをお考えのご家族に「最新!トクする住宅ローンセミナー」のお知らせです。
限度額、返済額などをその場で試算。
具体的な資金計画がクリアにわかります。また、個別相談では住宅ローンの返済計画を試算・アドバイスいたします。
ぜひこの機会にご参加ください!

固定金利と変動金利、どっちがいいんだろう?

この予算だとどのくらいの家が建てられるのかな?

いくら借りられるの?



■主催 / JA 秋田ふるさと ■協力 / 農林中央金庫 秋田支店

日程・会場

平成30年 **2月18日(日)**

よこてシャイニーパレス 5階 会議室

時間など

セミナー 午前10時30分～ (午前10時より受付開始)

「住宅ローンの上手な借り方、返し方」

講師 / 農林中央金庫 秋田支店

個別相談会 午後1時～ 住宅ローンについて、専門スタッフが個別にご相談を承ります。

お申込締切

平成30年 **2月14日(水)**

※定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。

お申込み・お問い合わせ

JA 秋田ふるさと ローンセンター

TEL.0182-38-8601 FAX.0182-38-8602

E-mail: kn-suisin@akita-furusato.or.jp

または、最寄りの各支店・出張所へお申込ください。【お申込受付時間】月～金 午前9時～午後5時



●参加費 **無料**

●定員 (予約制) **50名**

ローンセンター 好評営業中!

土曜日・日曜日も 営業時間: 平日 9:00～19:00
相談OK 土・日曜日 9:00～16:00

※水曜日・祝祭日(振替休日を含む)は休業。土曜日・日曜日は営業しております。

なお、当日ご参加できない方につきましても、ご連絡をいただければ別途ご相談を承りますので、お気軽にお問い合わせください。

●金沢支店 ☎37-2122 ●横手支店 ☎32-1331 ●平鹿病院出張所 ☎36-1417 ●山内支店 ☎53-2121 ●平鹿支店 ☎24-2331

●雄物川支店 ☎22-3240 ●大雄支店 ☎52-2511 ●大森支店 ☎26-2059 ●十文字支店 ☎42-1011 ●増田支店 ☎45-2030

※お申込の際は、電話・FAXまたはE-mailにてお申込ください。その原住所・氏名・年齢・連絡先電話番号と参加人数をお申し出ください。なお、個人情報につきましては、参加券発送以外の目的で使用いたしません。

詳しくは当JAのホームページをご覧ください (<http://www.akita-furusato.or.jp>)

秋田ふるさと

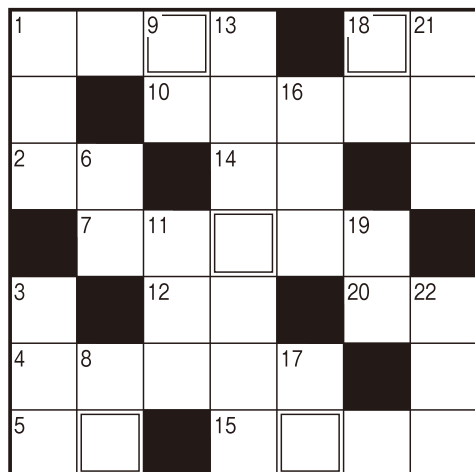
検索

新春クロスワードパズル

- タテの鍵
- 1、画数を意識して付ける人もいます
3、歯を抜くときにかけます
6、乗り物を使わない移動手段
8、マグロの身のうち脂の多い部分
9、木偏に南と書くと読みかけの本に挟む物
11、運転席の横にあります。自動車を止めておくときに引きます
13、手荒れ防止にクリームを塗った損の反対語
16、秒と時の間
17、「領収書の宛名は？」「様でお願いします」
21、芸能人のサイン——が飾られた店
22、雨交じりの雪のこと



※12月号の当選者については2月号でお知らせいたします



ヨコの鍵

- 1、セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ……といえば
2、平成30年は戌戌（つちのえいぬ）です
4、通りのこと。メイン——
5、白黒写真からは伝わらないもの
7、レーズンと呼ばれることも
10、米と水を入れてセットします
12、男性の方がよく使う一人称
14、ベトナムの通貨単位
15、襟が緩んだり帯がほどけたり
18、竹の幹にできる区切り
20、彼女は満面の——を浮かべた

お年玉 プレゼント



①クロスワードパズルの答え

--	--	--	--	--

②住所

③氏名(当選発表時にペンネームが必要な方は別途記載してください)

④年齢

⑤電話番号

⑥当誌を受け取った場所

⑦今月号の好きな記事とその理由

または当誌やJAへのご意見・ご感想



※写真はイメージです

J A秋田ふるさと直売の会

「ふるさと安心畑」おすすめセット

15 名様

【応募方法】

左の①～⑦の項目を明記の上、ご応募ください。左の点線を切り取ってハガキに貼りつけてもご応募できます。

【応募先】

〒013-0036 横手市駅前町 6-22

J A秋田ふるさと総務課広報担当

(ホームページからの応募もOK。トップページの「みなさんの声と作品をお寄せください！」バナーをクリック！)

【締切】 平成30年 1 月30日(火) 消印有効

「ふるさと安心畑」より新春セールのお知らせ



J A直売の会「ふるさと安心畑」イオンSC横手南店では、1月2日、新春セールを行います！野菜や果物、加工品などを詰め込んだ「福袋」(限定30袋)のほか、餅まきも実施！帰省される方へのお土産品などもご用意してお待ちしております。ぜひ、お越しください！

開催日時／平成30年1月2日(火) 10:00～

※無くなり次第終了

場 所／「ふるさと安心畑」イオンSC横手南店
実施内容／

①福袋限定30袋(税込1,080円)販売

②餅まき 11:00～ 他

【お問い合わせ】

営農企画課(ふるさと安心畑担当) 23-6552

J A杯9人制女子バレーボール大会参加チーム募集のお知らせ



第11回を迎える標記大会を開催します。
ぜひご参加ください！

開催日／平成30年2月3日(土)

場 所／横手市立雄物川体育館

参 加／オープン参加

※J A管内にお住いの方または代表者がこれに準ずるチーム
競技規則／平成29年度日本バレーボール協会競技規則による

参 加 料／無料

申込方法／①J A各支店配布の参加申込書による

②当J Aホームページから申込

申込締切／平成30年1月19日(金)

表 彰／全チームに豪華参加賞を進呈、優勝、準優勝チームには賞状・記念品を授与

【お問い合わせ】

総務部総務課バレーボール大会事務局 35-2634

初貯金 1/4 (木)

日頃の感謝を込めて、**干支の貯金箱**をプレゼント！
各支店・出張所窓口へお越しください！

【年末年始のATM営業時間】

日 時	12/30(土)	12/31(日)	1/1(月)	1/2(火)	1/3(水)	1/4～1/5	1/6～1/8
営業時間	9:00～ 17:00 (※)	9:00～ 17:00	休 止	休 止	9:00～ 17:00	8:45～ 21:00	休 止

(※)雄物川支店ATMは12/30(土)、12/31(日)、1/3(水) 19:00まで営業します。1/9(火)からは通常営業いたします





理事会だより

【第8回定例理事会】

平成29年11月27日(月)
出席理事数31名(32名中)

議案(抜粋)

- 平成30年度金沢種苗センター利用料金の設定について
- 平成29年度とも補償事業の補償金単価の設定について
- 報告事項(抜粋)
- 第2回金融共済専門委員会の協議結果について
- 第2回営農専門委員会の協議結果について
- 農畜産物の生育及び販売状況について
- 平成29年産米の集荷および検査状況について
- 第2回管理専門委員会の協議結果について

理事会メモ

報告事項5号

平成29年産米の集荷および検査状況について

登熟期の天候不順のため登熟がやや不良となり、契約数量対比91.8%の集荷率となりました(検査数量590,769.5俵/60kg) 一等米比率はカメムシによる被害が少なく95.4%となりました。(平成29年11月21日現在)

ふるさと燃料サービス 年末年始の営業について

年末年始の営業は次の通りとなっております。本年もご愛顧のほどよろしくお願い致します。

【給油所】

日付	SS名	営業時間
12/31(日)	福地	7:00~19:00
	横手南	7:00~20:00
	金沢 横手中央 平鹿 大雄 十文字南 新增田 沼館	8:00~16:00
	八沢木	8:30~16:00
	川西	休業
	福地	7:00~19:00
	横手南	7:00~21:00
1/1(月)	横手中央 平鹿 大雄 十文字南	8:30~17:00
	金沢 川西 八沢木 新增田 沼館	休業
	福地	通常営業
	横手南	通常営業
1/2(火)	金沢	8:00~17:00
	大雄	8:00~17:30
	横手中央 平鹿 十文字南 沼館	8:00~18:00
	川西 八沢木 新增田	8:30~17:00
	福地	通常営業
1/3(水)	横手南	通常営業
	金沢	8:00~17:00
	大雄	8:00~17:30
	横手中央 平鹿 十文字南 沼館	8:00~18:00
	川西 八沢木 新增田	8:30~17:00
	福地	通常営業

1/4(木)からは通常営業いたします。

【LPGガスセンター】

12/31(日)	休業
1/1(月)	
1/2(火)	
1/3(水)	通常営業

【配送センター】

12/31(日)	8:00~15:00
1/1(月)	休業
1/2(火)	通常営業
1/3(水)	

【本社】

12/31(日)	8:30~16:00
1/1(月)	休業
1/2(火)	通常営業
1/3(水)	

JAバンクあきた
ウィンターキャンペーン2017

1/31まで
実施中!

がぶんとあきた産!

ふるさと
Auto Land からのお知らせ
株式会社ふるさとオートランド

新春初売

1月6日(土) ~ 7日(日)

スペシャルな2日間!

朝9:00 開運スタート! 夕方5:00まで

特典1 期間中ご成約の方に 高級和牛ステーキ お年玉特別企画 お肉増量プレゼント!

特典2 ご来場記念品 お楽しみ福袋プレゼント! ※数に限りがございます

期間中ご来場の方にあったか〜い飲み物やお菓子などを
ご用意しております。ぜひお越しください!

【お問い合わせ】(株)ふるさとオートランド
事務所 33-5995 整備工場 32-7477

赤ん坊になった八五郎

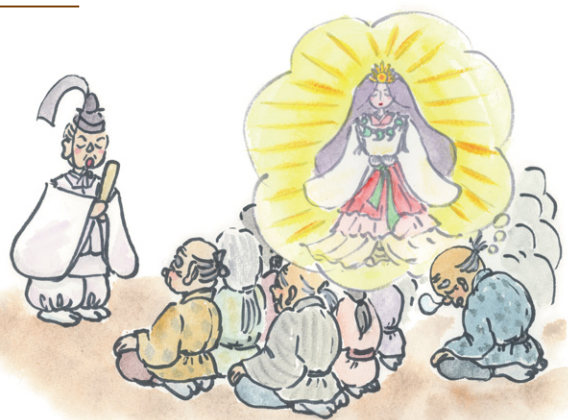
●再話／中川文子 ●画／佐々木倫美子

昔むがし、ある処さ、八五郎っていう独身者、えだけど。嫁っこ貰いつ外して、六十一になつてしまつたんだど。八五郎、「還暦も過ぎだごだし、何時死ぬが解らねや」って思つて、一生一度のお伊勢参りさ出がげだけど。

途中で殿様と出会つて、「何処さ行くんだ」って聞がれだけど。「お伊勢参りさ行くごだ」って答えだば、「神信仰は善行だども、お伊勢参りしたごで、必ずご利益があるどは限らねや。俺ら、子供いねやなで家内ど二人で何回もお伊勢参りしたども、未だに子供が授がらねや。悪りごどは言わねや。難儀してお伊勢参りするより、家でゆっくり休んでだ方が良え」って言われだけど。八五郎が「これを逃せば一生行げねや」って答えだば、殿様、

「したら、戻りに必ず屋敷さ寄れ」って言うけど。

お伊勢様さ着いだ八五郎、「残りの一生、殿様みでやに暮らしてや」って願つたんだど。それがら、神主様の有難でや話つこ始まつたけど。聞いてる内に眠ふてやぐなつてきたなで、そのまま眠でしまつたけど。したば、夢さ出できた神様、「一粒飲めば二十才若返る尊でや薬授ける」って言うけど。ハツとして目え覚ましたば、右手さ三粒、左手さ二粒、丸い粒つこ握つてだけど。戻り道、殿様の屋敷さ寄つたけど。汚つたねや格好だから、門番、ながなが取り次いでけねやけど。押し問答してだば殿様が出はつてきて、八五郎どご中さ入だけど。殿様が「何えが、ご利益あるけが」って聞がれたなで「薬つこ授がってきた」って教えだけど。した



ば、「俺らさも分けでけれ」って願うなで、一粒けだど。それ飲んだ殿様、若返つて男ぶりの良え若殿様になつたけど。奥方様も欲しいって言うけど。飲んだば、綺麗だ若奥様になつたけど。聞き付けた女中だの腰元だの、「欲しい、欲しい」って続々と押し寄せできてせがむけど。困つた八五郎、残つた三粒、全部飲んでしまつたけど。

翌朝、八五郎、ながなが起きでこねやけど。殿様が起こしに行つたば、六十若げぐなつた八五郎、赤ん坊になつて寝でだけど。「神様、俺らどご哀想ぐ思つて、赤ん坊、授げでけだなだな」って思つて、八五郎どご若様にしたんだど。とつぴんばらりのぼう

JAの概況

Situation

組合員数	17,651人
（正組合員）	12,918人
（准組合員）	4,733人
貯金	1060億1130万円
貸付金	324億1704万円
購買品供給高	36億6728万円
販売品販売高	132億8613万円
共済保有高(保障)	4133億1215万円
(2017年11月末現在)	

編集後記

今回の新春号特別対談では二期目を迎えられた高橋大横手市長に登場いただきました。市長が「千年越しの首位奪還」と仰っていたことが印象深く、対談後、久しぶりに「横手市史」や横手の古代史、伝承が記された本と睨めっこしました。土地を開拓し、民に農業を教えた「長者」をはじめ、今日の横手盆地があるのは先人の皆さんの偉業あってこそ。畏敬の念を抱かずにはいられません。

冬になり、雷が鳴りだすと「ハダハダ（ハタハタ）来たな」と家族の誰かが必ず言いだしたものでした。幼少期、よほどハタハタが食べたかったのでしょう。母が買い、祖父が買い、同じ日に2箱のハタハタ：お互いに顔を見合わせどうしようねなどと笑っていると、玄関先でお届け物で「す！との声。届いたものはそう、ハタハタ。計3箱になったハタハタを家族総出で、まさに飽きるほど食べるのになつてしまつたのでした。

(み)

JA通信 ふるさと

発行／秋田ふるさと農業協同組合
企画／編集／総務課 〒013-0036秋田県横手市駅前町6番22号
印刷／(株)全農ビジネスサポート秋田支店

TEL／0182-35-2630
FAX／0182-35-2701
E-mail／fu.staff@akita-furusato.or.jp

秋田ふるさと

検索

検索サイトでJAのホームページに簡単アクセス！

